

関西理学療法学会 一日研修会 リクエストセミナー

『姿勢・動作分析の指導時の工夫』

神戸リハビリテーション衛生専門学校 研究教育センター

嘉戸直樹

高橋優基

前田剛伸

理学療法士は寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活をおこなううえで基本となる動作の改善を目指す「動作の専門家」です。神戸リハビリテーション衛生専門学校では「治せるセラピスト」を養成すべく、理学療法評価のなかでも「姿勢・動作分析」が重要であると教授しています。また本校は「研究教育センター」を設置し、同グループ施設に所属する新人理学療法士を対象に卒後教育をおこなっています。この研究教育センターでは、一症例について姿勢・動作分析による評価に基づく理学療法の効果を学会で発表することを目標にしています。

本セミナーでは、本校の学生や研修生に対する姿勢・動作分析の指導時の工夫に関して、以下の内容を紹介いたします。

1. 理学療法評価の流れと動作の実用性を理解する
2. 現象を構成する関節運動を理解する
3. 隣接関節の運動との関連を理解する
4. 動作観察時に必要な環境設定を理解する

本セミナーを通して、皆様よりご意見をいただき今後の本校での指導に活かしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。